

30 文化芸術振興事業に対する支援措置の強化について

(文化庁)

【内容】

- (1) 地方自治体等の文化芸術振興事業に対する一層の支援を図ること。また、対象分野・対象経費など制度の拡充を図ること。
- (2) 大規模芸術祭など文化芸術を基軸とした地域づくりにつながる総合的・複合的な取組に対して、新たな支援制度の創設を行うこと。

(背景)

- 平成19年2月、国は「文化芸術の振興に関する基本的な方針」(第2次)を策定し、文化芸術で国づくりを進める「文化芸術立国」を目指し、文化芸術を通じて世界に貢献するなどの基本的視点及び重点的取組事項が決定された。同方針では、文化芸術活動への支援について、中長期的な観点に立って、水準の高い活動への重点支援を行うこと、地域の文化力を広くまちづくりに生かしていくことなどが位置づけられているところである。
- 地域の文化芸術振興の取組を一層推進するためには、文化芸術を担い、支える人づくりや、文化芸術の創り手と受け手をつなぐ役割を担うアートマネジメント人材の育成、地域における文化芸術の力によるまちづくりなどが重要であり、こうした分野への支援の拡充を図ることが必要である。
- また、本県では、平成22年(2010年)を初回として、現代美術を基軸としつつ、舞台芸術も併せて展開する総合的・複合的な国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」を定期的で開催し、愛知から文化芸術を日本・世界へ発信することにより、地域の文化芸術振興を図ることとしている。
- あいちトリエンナーレのような大規模芸術祭は、魅力と風格あふれる地域づくり、及び芸術文化における国際交流に大きな役割を果たすものであることから、こうした事業に対して、国として、開催ノウハウに長けた人材の派遣、芸術祭全体に対する財政支援等、あらゆる角度からの総合的な支援制度、支援体制の創設が望まれる。

(参 考)

あいちトリエンナーレ2010の概要

- テーマ：都市の祝祭 Arts and Cities
- 開催時期：平成22年8月21日（土）から10月31日（日）まで（72日間）
- 事業内容：現代美術を基軸としつつ、舞台芸術も併せて展開（会場の持つ複合機能を活用）
普及・教育プログラムの展開や祝祭感の創出を目指す
- 会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、長者町会場、納屋橋会場他
- 運営主体：あいちトリエンナーレ実行委員会
- 芸術監督：建畠 哲氏（国立国際美術館館長）



草間彌生 Yayoi Kusama
Dots Obsession 2008
パリのラ・ヴィレットでの展示



会場：愛知芸術文化センター



ヤン・ファールブル
『Another Sleepy Dusty Delta Day』



キッズトリエンナーレプレイイベント
へんしんハウス
愛知芸術文化センター 2010.1